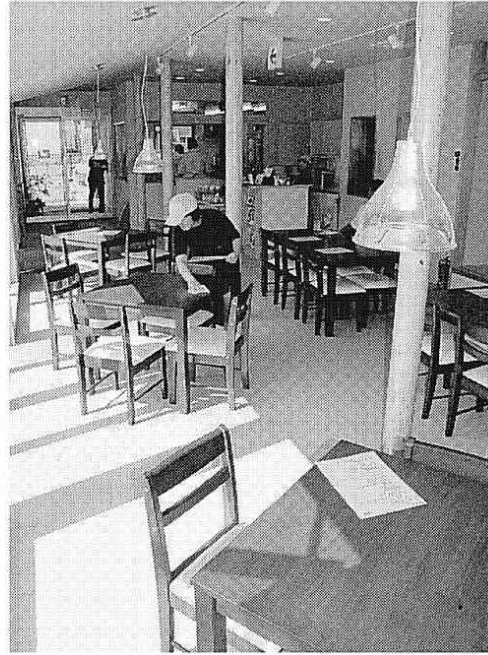


地域のサロン 障害者と共に

当別に交流拠点開設

【当別】町内の障害者就労や地域交流の拠

開設した地域オープンサロン。中は広々としており、ゆっくりと喫茶が楽しめる



点となる「共生型地域オープンサロン」がこれほど、町内弥生に開設された。施設内では、食事までできるカフェがあるほか、駄菓子屋も併設。今後は、町民ら約百六十五平方メートルの道医療大OBらでつくるNPO法人「当別町青少年活動センターゆうゆう24」が国の補助金約三千万円で建設した。現在サロンに勤務し

ているのは、NPO法人スタッフ二人と、障害者五人の計七人。カフェでは、手作りドーナツ(一個百円から)のほか、コーヒー(一杯二百五十円から)などを販売。町内の飲食店が料理を提供する日もある。

サロンでは、高齢者ボランティアの参加も求めている。町内にある地域福祉ターミナルを通じて紹介を受けることができる。サロンの責任者を務める菅原秀和さんは「目指すは健康者と障害者だけでなく、幅広い世代間の交流。この施設が当別でその役割を担いたい」と話している。

サロンは、施設内で日替わりの手作り料理を作る人も募集中。サロンの営業時間は午前10時から午後六時。土曜、日曜、祝日は休み。問い合わせは2

0775へ。
(郡義之)